

講座名 医療経済政策学講座
代表者 特任教授 田倉 智之
構成員 特任助教 新谷 嘉章

【 講座概要 】

近年、社会構造が変遷するなか、医療制度や医療産業に係わる各種施策についても、我が国は大きな転換点に立たされていると推察されます。本講座の目的は、“医療分野の価値評価”などに係わる理論構築や実証研究を中心に、将来の健康システム（臨床・制度と経済・産業）を論じることにあります。具体的には、医療価値評価、費用対効果学、医療産業論などの理論や手法の研究を推進し、医療技術や診療システムの価値評価を目指しています。また、協力講座とともに、医療技術評価の人材育成プログラムを推進しています。

なお当講座は、2017 年 2 月に、株式会社日本政策投資銀行、中外製薬株式会社、バクスター株式会社、日本メジフィジックス株式会社、株式会社メディブレーン、旭化成メディカル株式会社、ニプロ株式会社、東レ・メディカル株式会社、株式会社 ジェイ・エム・エス、テルモ株式会社の計 10 社の寄付金により、22 世紀医療センターに設立された寄付講座で、心臓外科学講座、腎臓・内分泌内科講座および臨床疫学・経済学講座を協力講座としています。

【 研究内容 】

医療経済政策学講座は、“医療分野の価値評価”として、1) 治療介入や検査診断の経済価値、2) 医療経営や関連事業の付加価値、3) 医療制度のパフォーマンス評価、などの研究を進めています。例えば、循環器関連の医療機器の臨床経済研究や腎不全領域の薬物療法の費用対効果研究、糖尿病や疼痛に対する指導介入の社会経済性についての研究などを展開しています。

本年度は、昨年度に引き続き、侵襲的冠動脈造影検査・C 型肝炎治療薬・心臓リハビリテーション・糖尿病生活指導などの医療技術の費用対効果分析、電子カルテ等の医療 IT の医療経済学的な評価を進めました。また、機能的虚血評価の医療保険制度への影響分析を試行するとともに、訪日外国人の診療価格の理論構築・原価計算・価格試算などを実施しました。

さらに、医療経済系のビッグデータ（The Tokyo University Health Economy Big Data: TheBD）などを応用した医療技術評価（HTA）も実施しました。

【 今後の展望 】

今後も、合理的な根拠に基づく適切な医療資源の整備を促し、臨床現場を支え医療技術を発展させるために、次の研究課題に取り組んでいきます。

- 1) 重症心不全のVAD治療、末期腎不全の透析治療、及び核医学診断などの費用対効果水準の検証を進めている。
- 2) 我国における疾病負担の整理として、慢性疼痛が及ぼす社会経済学的な影響の研究を推進している。

- 3) 包絡分析法 (DEA) などを応用した循環器領域などの医師の労働生産の評価手法の開発も試行している。

上記に加え、医療経済系のビッグデータなどを応用した医療技術評価 (HTA) の予測モデル事業も実施する予定であります。また、金融工学などを応用した研究開発事業の市場価値を予測する研究も展開する予定であります。

【平成30年度活動実績】

<論文・著書>

■ 和文論文

1. 田倉智之. “補助人工心臓と医療経済 (I 章4部)”. 補助人工心臓治療チーム実践ガイド (許俊鋭監修). 東京. メディカルビュー社; pp. 60-61. 2018
2. 田倉智之. “今後の医療経済と透析療法”. 透析療法最前線 (監修; 中元英友). 東京. 東京医学社; pp. 15-24. 2018
3. 田倉智之. “費用対効果について教えてくださいか?”. オンラインHDFの使い方、考え方. 東京. 中外医学社; pp. 136-141. 2018
4. 田倉智之, 柴田政彦. 慢性疼痛領域における治療の費用対効果と社会経済的な負担 - 慢性疼痛治療の医療経済学. 運動器疼痛. Vol. 10 No. 1. pp. 88-96. 2018
5. 田倉智之. 腎泌尿器分野の薬物療法 (癌治療薬領域) の臨床経済 - 腎泌尿器診療の医療経済. 腎臓内科・泌尿器科. Vol. 8. No. 6, pp. 564-571. 2018
6. 田倉智之. 高血圧治療と費用対効果. 腎と透析. Vol. 85. No. 8, pp. 341-346. 2018

■ 英文論文

1. Tomoyuki Takura, Takashi Takei, Kosaku Nitta. “Socioeconomics of Administering Rituximab for Nephrotic Syndrome”. Contributions to Nephrology. 2018;195:110-119.
2. Tomoyuki Takura. Background and Current Trends in Medical Economics Research in the Circulatory Field. Circ Rep. 2018;0:11-14.
3. Tomoyuki Takura. An Evaluation of Clinical-economics and Cases of Cost-effectiveness. Intern Med. 2018 May 1;57(9):1191-1200.
4. Satoshi Kodera, Hiroyuki Morita, Arihiro Kiyosue, Jiro Ando, Tomoyuki Takura, Issei Komuro. Cost-Effectiveness of PCSK9 Inhibitor Plus Statin in Patients With Triple-Vessel Coronary Artery Disease in Japan. Circ J. 2018;82(10):2602-2608

<学会・講演会発表>

■ 国内学会

1. 田倉智之: 診療報酬制度の概念と将来—歴史から読み取る, 第9回腎臓リハビリテーション学会; 基調講演—特別企画「診療報酬について」, 別府, 2019

2. 田倉智之：機能的虚血評価の診療報酬算定要件の変化とPCI介入実績の変位，FRIENDS Live 2019；基調講演－Town Hall Meeting－安定虚血性疾患に対するPCIを考える，品川，2019
3. 田倉智之：医療経済からみた安定冠動脈疾患診療の現状と問題点，第29回日本心血管画像動態学会：シンポジウム－費用対効果からみた安定冠動脈疾患に対する最適な虚血評価法を考える，久留米，2019
4. 田倉智之：医療経済学からみた外科医のストレス軽減，第31回日本内視鏡外科学会総会；特別講演，博多，2018
5. 田倉智之：医療制度と技術評価－医療経済塾，ARIA2018；シンポジウム，博多，2018
6. 田倉智之：医療経済を理解したPD医療，第24回日本腹膜透析医学会学術集会・総会：シンポジウム PD人材育成システムの構築，徳島，2018
7. 田倉智之：将来の心不全パンデミックにそなえた心不全デバイス治療の医経済的問題提起，第66回日本心臓病学会学術集会：シンポジウム CRT 予後改善効果のEBMと課題，大阪，2018
8. 田倉智之：透析医療における費用対効果のあり方を考える，第63回日本透析医学会学術集会・総会：シンポジウム 透析医療における診療報酬のゆくえ，神戸，2018
9. 田倉智之：医療技術と医療経済の価値評価費用対効果評価とは，第28回日本心臓核医学会総会：ランチョンセミナー 医療経済からみた安定冠動脈疾患の治療戦略，東京，2018
10. 田倉智之：腎不全医療の経済的な問題点（マクロとミクロの視点から），第106回日本泌尿器科学会総会：シンポジウム 国家財政と末期腎不全，京都，2018
11. 田倉智之：診療報酬の位置づけとその仕組みを医療経済学から考える，第8回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会：腎臓リハビリテーションにおける診療報酬のあり方，仙台，2018
12. 田倉智之：Health Economic Impact of DT (Destination Therapy)，第82回日本循環器学会学術集会：トピック1日本におけるDT治療を考える，大阪，2018
13. 田倉智之：医療保険財政の現状と将来，FRIENDS Live 2018：Town hall Meeting 安定冠動脈疾患に対するPCIを考える～平成30年度の保険改訂に向けた中医協の最新動向を受けて～，東京，2018
14. 田倉智之：費用対効果分析と保険償還，JET2018：Session No E3 日本にデバイスが来なくなる？（デバイスギャップ），大阪，2018

■ 国際学会

1. Tomoyuki Takura: Issues and Future Visions for Cost Effectiveness Evaluation of Medical Devices; ISPOR Asia Pacific Conference 2018: Spotlight Session, Tokyo, Japan, 2018

<講演会・研究集会>

■ 社会活動

1. 腎臓病臨床経済セミナー：腎不全領域の医療制度の過去と未来を考える
平成30年11月18日（土）14時00分～16時00分、ベルサール八重洲
（NPO法人腎臓病臨床経済協議会との共催）

- (1) オープニング 川西 秀樹 理事長
 - (2) 基調講演：医療資源整備のあり方と地域医療
専門医制度/ 需要と供給、オンライン診療等の今後
講師：佐々木 健 先生（厚生労働省医政局医事課 課長）
 - (3) 研究報告：療法選択の改定前後の動向
平成30 年度改定に伴い新設された療法選択算定の影響（変化）を調査分析
講師：田倉 智之 先生（東京大学医学系研究科 特任教授）
 - (4) クロージング 新田 考作 理事
2. 医療価値評価の胎動プログラム： 2018年度シンポジウム
平成31年3月9日（土）9時00分～12時00分、ベルサール八重洲
- (1) オープニング 小野 稔 先生（東京大学）
 - (2) 来賓挨拶
司会：小野 稔 先生（東京大学）
医療価値評の今後に向けて
国光 あやの 先生（衆議院議員）
 - (3) 基調講演 _1
座長：田倉 智之 先生（東京大学）
外科療法などを取巻く診報酬の潮流
岩中 督 先生（埼玉県病院事業管理者、外保連会長）
 - (4) 基調講演 _2
座長：岩坪 威 先生（東京大学）
エビデンスに基づく保険政策の意思決定
秋野 公造 先生（参議院議員）
 - (5) 医療経済価値の評分析事例中間報告会
座長：大野 達也 先生（群馬大学）
 - ・ C型肝炎治療薬の費用対効果評価研究
 - ・ 心臓リハビリテーションの臨床経済評価研究
 - ・ フォローアップ冠動脈造影の医療経済学的研究
 - (6) 修了証の授与式
 - (7) パネルディスカッション：医療制度や産業の存在意義（期待と課題）
座長：半田 宣弘 先生（医薬品療機器総合構）
 - ・ 制度関連：半田宣弘氏（PMDA），長谷川正宇氏（厚労省），
 - ・ 臨床関連：平野景子氏（順天堂大），
 - ・ 産業関連：平尾勇実氏（オリンパス），平野圭氏（サノフィ）
 - (8) クロージング 田倉 智之 先生（東京大学）

以上